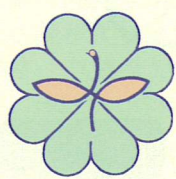


2021年12月1日

第24号



民児協

# みんじきょう流山

発行 流山市民生委員児童委員協議会 会長 寺谷直恭

## つなぐ 支える 地域とともに



**民生委員・児童委員は  
地域の見守り活動を  
行っています**



### 民生委員・児童委員、主任児童委員の活動について



民生委員・児童委員は地域の身近な相談相手です。  
相談内容に応じて必要な支援が受けられるよう関係機関につなぎます。

流山市民生委員児童委員協議会では、現在 186 名の民生委員児童委員が 9 地区に分かれて、地域の見守り、支援や関係機関への橋渡しなど、様々な活動をしています。また、各地区には 2 名の主任児童委員がおり、学校等と連携して児童の見守りを行っています。

### 各地区だより



民生委員・児童委員が関わる様々な活動の一部をご紹介します。

#### 【東深井地区】

東深井地区は通学路見守りボランティアに力を入れています。なかでもボランティア歴16年の服部音二さんが、この活動を始めるきっかけは働いている時にできなかった地域の恩返しと子どもが好きだった事でした。通学路は、交通量も多く信号もない抜け道もある為、自転車や車が数多く往來します。服部さんは子供への挨拶はもちろん、体調が悪そう等、心身の変化に気になることがあれば声をかけます。励みは子供達がいよいよ挨拶を返してくれること！



#### 【北部地区】

市内には14の子ども食堂があり、この地区では生涯大学校子ども食堂とみんなの江戸川台キッチンがあります。どなたでも参加でき、地域のコミュニティの場を目指して活動中。現在、会食不可の為、フードパントリーやお弁当配布を、夏休みにはお弁当、先生付きで勉強会を実施しました。冬休みにも実施予定あり。

スタッフは全てボランティア。コロナが終息し、みんなで会食できる日を心待ちにしています。





【常盤松地区】

常盤松地区は、おおたかの森地区の開発に伴い新旧の住民が入り交じり、活気のある変化に富んだ地域です。八木北地区社協では毎年「健康チェックデー」(例年100名以上参加)を開催し、身体測定・骨密度測定等の他、インフルエンザの予防接種も集団で行ってきました。永年の経験から培ったそのノウハウを、今後いつまで続くかわからない新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に活かさないものかと考え昨今です。



【西初石地区】

当地区では、西初石地区社協と連携して活動を行っています。毎年、敬老の日には75歳以上の高齢者を対象にお赤飯の配布を行っており、令和3年度は1902個の配布となりました。各自治会の協力の下、各個人へ配布されています。

長生きをお祝いするとともに、接点をつくることで見守り活動が充実するよう取り組んでいます。



【おおたかの森地区】

おおぐろの森小学校も開校し、ますます人口が増えたこの地区です。地域の安心、安全の為に役に立ちたい・そんな思いで、いつ起こるか分からない災害に備え「避難所運営訓練」を地区社協主催で行いました。コロナ禍でしたが、各自治会や学校関係の方々など参加のもと、総務・救護・物資など3グループに分かれてそれぞれの役割を確認しました。いざという時の為に普段からの訓練、地域のネットワークがとても大切だと思います。



【南部地区】

南部地区からは朝の挨拶運動をご紹介します。通学路で「おはよう」の声掛けを続けて5年。初めの頃は声をかけても怪訝に思われたり、無反応の子どもいましたが、今では顔も覚えてもらったり、元気に返事がくるようになりました。そのきっかけは自宅前が通学路だったのと交通事故などに注意してもらえればと考えてスタートしたとのこと。元気に今日も朝の挨拶運動を進めてるのは平和台在住の湯浅武久さんです。



【南流山地区】

地区定例会において、委員から当地区の広報誌を作成してはとの提案があり、民生委員・児童委員のアピールを兼ねて令和元年「民生だより」第一号の発行に至りました。5名の担当者で構成し、我々の活動を解りやすく説明したり、委員が収拾した地域の情報から、運動不足になりがちな高齢者のための自然を感じながら散歩できる安全な遊歩道の紹介をしたり、時にはクスッと笑える川柳を掲載したりと工夫を凝らしています。コミュニケーションに欠けるコロナ禍、つながりを感じていただけたらと思います。



【八木地区】

長崎地区社協と八木南地区社協の活動に参加しています。長崎地区では介護重度化防止推進のため、開始以来5年「ながいき100歳体操」を行っています。おもりを手首・足首に巻き童謡を歌いながらゆっくりと手足を動かします。



八木南地区では、買い物が困難な方のために移動スーパーが指定場所の6カ所に毎週火・金の午後2時～5時に開店しています。地域の皆様には大変便利に利用できると思っております。



【東部地区】

当地区では、東部地域包括支援センターとの共催で「福祉」の学習をスタートする小学校(東小・向小金小)4年生を対象に、6年前から「認知症キッズサポーター養成講座」を毎年開催しています。そして認知症に関する正しい理解を深め、認知症の方やその家族の方々が安心して暮らし続けられる地域づくりの応援団を養成しています。地域のつながりや支え合いにより、認知症の方やその家族の方々の穏やかな生活が期待されます。





# 子育てサロンのご紹介

## 民生委員・児童委員は 子育て応援団 です ひとりで悩まずに相談してください



流山市生涯学習センター  
流山市中110  
☎04-7150-7474

名都借福祉会館  
流山市名都借274  
☎04-7144-5510

ほっとプラザ下花輪  
流山市下花輪227  
☎04-7150-4126



民生委員・児童委員や主任児童委員が主催する子育て支援サロンがあります。主に未就学児のちびっ子と子育てに頑張っている、パパやママの憩いの場所として、又、親同士の交流の場として開催しています。

子どもたちや子育てに悩む保護者のSOSの声をいちやくキャッチ!

☎ 児童相談所全国共通ダイヤル

いち はやく  
**1 8 9**

覚えやすい3桁の番号になりました。お近くの児童相談所につながります。

※一部のIP電話からはつながりません。



流山市民生委員児童委員協議会

事務局：流山市社会福祉協議会  
福祉総務課 民生児童係  
TEL 04-7159-4735

オレンジリボンには子ども虐待を防止するというメッセージが込められています。

# 家族の絆



中学生の部 最優秀賞 常盤松中学校2年 小坂美琴  
受けとめよう 小さな子どもの大きな叫び



小学生の部 最優秀賞 長崎小学校5年 古町紗那  
一人じゃない 家族はわたしの ぬえんだん

児童虐待防止推進月間  
令和3年度

児童虐待の早期発見に向けて  
11月の児童虐待防止月間

流山市民生委員児童委員協議会では市内の小中学校から、児童虐待防止推進標語を募集し、最優秀作品を掲載したポスターやクリアファイルを作成・配布して啓発活動を行っています。今年度は常盤松中学校区が担当し、小学校17校1646点、中学校9校2598点のたくさんの応募から選出されました。

編集：流山市民生委員児童委員協議会広報部会